

 評価のポイント**CL-3.看護実践能力：ケアする力**
【29-3】急変リスクの高い患者の判断と看護ケアの検討

1. 医師への報告で躊躇したとき、なぜ躊躇したか話し合ってみましょう。

2. どのようにすれば、報告につながられるでしょう。

リーダーを担う看護師には、患者の状態変化を早期に察知するだけでなく、「その後の対応」に繋げる役割が求められる。つまり、急変の状況把握と対応の判断である。一方で、患者の状態変化は日常的に起こりうるものである。「急変時には、間違っても良いから応援を呼ぶ」と教わってはいるけれど、「今すぐ医師に報告すべきか」と悩んだ経験は皆さんにもあるかもしれない。どういったときに報告を躊躇するのか、経験を振り返ることで「次に急変が起こったとき」の判断を見誤らずに済むかもしれない。